

第四回

# 長山桂諷会大会

平成二十三年十月二日(日) 午前十時始  
於 鑛仙会能楽研修所

〒107-0062 東京都港区南青山四-二-二九  
電話 〇三-三四〇一-二八五

## 御挨拶

初秋の候、ますますご健勝のほどお慶び申し上げます。

本年、三月十一日、国内観測史上最大のM9.0東北地方太平洋沖地震での甚大な被害により、日本全体の環境が大きく変化しております。私自身は被災地にまだ一度も訪れる機会がなく報道でしか目にしておりませんが、一日も早い復興を願ってやみません。

さて、本年も観世鏡之丞師、宝生閑師を始め諸先輩方の御出演を賜り、桂諷会会員の日頃のお稽古成果を発表させて頂きます。

このように盛大な会を催せますことは、日々お稽古に励んでおられる会員皆様方のご支援あつての事と、心より感謝御礼申し上げます。

桂諷会会員は、能に魅せられた二十代から八十代の方までと幅広く、また老若男女、職種も様々な方々が趣味としてお稽古されているというのも、能ならではの事かと存じます。

今回は、山下ヤエ様が番囃子「松風」をされます。また、原田澄子様が、能「羽衣」を舞われます。

その他、出演者一同、この日に向けて研鑽を重ねております。

どうぞ、初番から最後まで、日頃の成果をごゆるりと御鑑賞頂きたく、皆様のお越しを出演者一同心よりお待ち申し上げます。

長山桂三

番組

素 謡

土 蜘蛛

トモ 柳澤 勝子  
胡蝶 西坂百合子  
頼光 石田由有子

シテ 野沢 寿子

ワキ 上田 睦子

ワキツレ 黒澤智恵子

地謡

横山 恵子  
長 和子  
桜間 貴子  
藤崎 智子  
酒井 和子

半 蔀

シテ 長谷川洋子

ワキ 地引恵美子

地謡

長山 桂三  
北浪 昭雄  
阿部 信之  
柴田 稔

船 弁慶

子方 岩波 富子

シテ 石井 愛子

ワキ 岡田 勝藏

ワキツレ 伊丹 邦彦

地謡

長山 桂三  
北浪 昭雄  
山本 順之  
清水 寛二

求塚

独吟

安藤とき子

天鼓

舞囃子

椎野悦子

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 大倉源次郎

笛

藤田

貴寛

地謡

長山 柴田 鶴澤

桂三 順之 稔 光

船弁慶

前

大川尚美

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 大倉源次郎

笛

藤田

貴寛

地謡

柴田 浅見 阿部 長山

真州 信之 桂三 稔

仕舞

高砂 石田由有子

地謡 長山 鶴澤  
浅見 桂三 光  
慈一

吉野天人 長 和子

舞囃子

玄象 鈴木 郁子

大鼓 亀井 広忠 梶谷 英樹  
小鼓 大倉源次郎 藤田 貴寛  
大鼓 梶谷 英樹  
小鼓 藤田 貴寛

地謡 観世 淳夫  
北浪 昭雄  
山本 順之  
長山 桂三

松風 和田久美子

大鼓 亀井 広忠 藤田 貴寛  
小鼓 大倉源次郎  
笛 藤田 貴寛

地謡 阿部 信之 光  
浅見 真州  
長山 桂三

仕舞

高砂 桜間 貴子

紅葉狩 藤崎 智子

地謡 長山 鶴澤  
浅見 桂三 光  
慈一

吉野天人 上田 睦子

番囃子

ツレ菊池 文子  
シテ山下 ヤエ

松風 ワキ 伊丹 邦彦

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 大倉源次郎

笛 藤田 貴寛

地謡 長山 柴田 長山 桂三  
浅見 真州 稔  
清水 寛二  
浅見 慈一

仕舞

合浦 長山 凜三

地謡 長山 観世 淳夫  
長山 桂三  
長山 禮三郎  
長山 耕三

舞 躰 子

三

輪

木内

恵美

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 大倉源次郎

大鼓 梶谷 英樹  
笛 藤田 貴寛

地謡

観世 淳夫  
長山 禮三郎  
観世 鎌之丞  
長山 桂三

高

砂

五段

山田

一成

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 古賀 裕己

大鼓 梶谷 英樹  
笛 藤田 貴寛

地謡

長山 桂三  
鶴澤 久  
清水 寛二  
柴田 稔

素 謡

隅 田 川

子方 長山 凜三

シテ 門松 通代

ワキ 丁子 裕  
ワキツレ 後藤 康子

地謡

長山 桂三  
清水 寛二  
観世 鎌之丞  
浅井 文義  
長山 耕三

舞 囃 子

松 虫 山 岸 孝 子

大 鼓 國 川 純  
小 鼓 古 賀 裕 己

笛 藤 田 貴 寛

地 謡

觀 世 淳 夫  
淺 見 慈 一  
淺 井 文 義  
長 山 桂 三

紅 葉 狩 江 口 ハ ル ミ

大 鼓 國 川 純  
小 鼓 古 賀 裕 己

笛 藤 田 貴 寛

地 謡

鶺 澤 光  
淺 見 慈 一  
鶺 澤 久  
長 山 桂 三

素 謡

藤 戸 シ テ 柳 川 治 代

ワ キ 平 野 浩 子  
ワ キ ツ レ 長 山 桂 三

地 謡

長 山 桂 三  
淺 井 文 義  
觀 世 鏡 之 丞  
馬 野 正 基

三

輪

素 謡

シテ 佐藤

寿世

ワキ 佐藤

勝生

地謡

観世 淳夫  
西村 高夫  
長山 禮三郎  
長山 桂三

胡

蝶

正田

千穂

大鼓 國川  
小鼓 古賀

裕己 純

太鼓 梶谷  
笛 松田

英樹  
弘之  
桂三  
長山 桂三  
馬野 正基  
長山 禮三郎  
長山 耕三

芦

刈

花村

薫

大鼓 國川  
小鼓 古賀

裕己 純

笛

松田 弘之  
長山 桂三  
鶴澤 久  
浅井 文義  
西村 高夫

舞 囃子

仕  
舞

鶴  
亀  
工藤 龍生

杜  
若  
正田 美穂

草子洗小町  
永井 千恵

地謡  
長山 長山  
馬野 桂三  
正基

東  
北  
地引恵美子

花  
月  
鈴木 伶奈

# 羽

シテ 天人 原田 澄子

# 衣

和合之舞

ワキ 宝生

閑

大鼓 國川

純

太鼓 梶谷

英樹

ワキツレ 高井

松男

小鼓 古賀

裕己

笛 松田

弘之

ワキツレ 御厨

誠吾

後見

長山 鶴澤

桂三 久

地謡

観世 長山 馬野

淳夫 耕三 正基

西村 高夫 観世 鑊之丞 長山 禮三郎

能

番外仕舞

老松  
長山禮三郎

采女  
觀世鏡之丞

地謡  
長山 耕三  
西村 高夫  
馬野 正基

碓潜  
長山 桂三

附祝言

(終了予定 午後六時半頃)

◆お知らせ

平成二十三年十二月十七日(土) 十四時開演

於 東京千駄ヶ谷「国立能楽堂」

第五回『桂調會』“形見” 狂おしいまでに愛おしく忘れがたきもの

仕舞 『経正クセ』 長山 凜三

一管 『恋之音取』 一噌 仙幸

仕舞 『花筐狂』 長山禮三郎

” 『木賊』 野村 四郎

” 『富士太鼓』 観世鏡之丞

狂言 『箕被』 野村 萬  
野村 万蔵

能 『松風』 長山 桂三

● S席指定席 ¥8,000

A席指定席 ¥6,000

自由席 ¥4,000

▼お問い合わせ・お申込み先

鑲仙会事務所 / 03(3401)2285 E-mail: tessenssen@jade.dti.ne.jp

能・狂言鑑賞の会 / 050(3347)7830 E-mail: nagayama@keizou.net

長山桂三公式ホームページ / <http://keizou.net/> (お問い合わせ、お申込み可能です)

◎お稽古に関するお問い合わせ

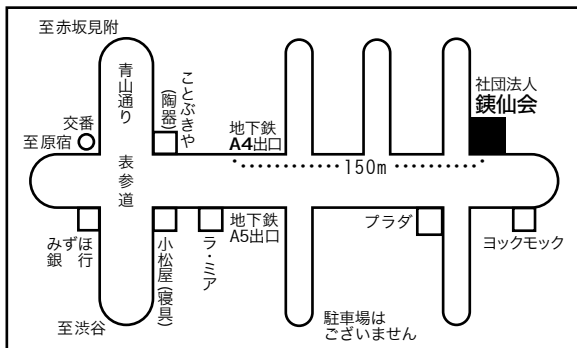
能・狂言鑑賞の会 050(3347)7830 E-mail: nagayama@keizou.net

御来場歓迎  
入場無料

主催

長山桂三  
桂諷会

### 鍔仙会能楽研修所



◎地下鉄表参道駅下車、(銀座線・千代田線・半蔵門線) A 4 出口より徒歩3分